

<給与支払報告書の記載の留意点について>

提出先 : 令和2年1月1日現在、給与の支払を受けた者が居住する市区町村長 宛

提出期限 : 令和2年1月31日

提出するもの : 総括表 1部 / 給与支払報告書(個人別明細書) 1人につき2部

※普通徴収該当者がいる場合は普通徴収切替理由書の提出が必要です

配偶者が、控除対象配偶者に該当しない同一生計配偶者(扶養している配偶者)である場合は、同一生計配偶者の氏名及び同一生計配偶者である旨を摘要欄に記載してください(例「氏名(同配)」)。

②		※区分	※種別	※整理番号
給与を支払う者	住所又は居所	(受給者番号) (個人番号)		
	氏名	(役職名) 氏名 (フリガナ)		
支払を受ける者	住所又は居所	(個人番号)		
氏名	(フリガナ)			
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収額
給与・賞与	円	円	円	円
(源泉)控除対象配偶者の有無等	控除対象配偶者の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)	16歳未満扶養親族の数	障害者の数(本人を除く)
有	円	人	人	人
無		人	人	人
社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額	
円	円	円	円	円
(摘要) 前職: ○○商事㈱ 平成31年3月31日退職 給与支払額 ○○円 源泉徴収額 ○○円 社会保険料額 ○○円 普A 七ヶ浜 春子(同配) (1)七ヶ浜 太郎(年少) (2)七ヶ浜 花子(年少)				
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額	介護医療保険料の金額	新個人年金保険料の金額
円	円	円	円	円
住宅借入金等特別控除の内訳	住宅借入金等特別控除可能総額	居住開始年月日(1回目)	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住宅借入金等年末残高(1回目)
円	円	年 月 日		円
(フリガナ)	氏名	区分	配偶者の合計所得	国民年金保険料等の金額
	個人番号			旧長期障害保険料の金額
1	(フリガナ) 氏名	区分	1	氏名
	個人番号			5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号
2	(フリガナ) 氏名	区分	2	氏名
	個人番号			5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号
3	(フリガナ) 氏名	区分	3	氏名
	個人番号			
4	(フリガナ) 氏名	区分	4	氏名
	個人番号			(1) 123456789150 (2) 123456789160
本人が障害者	本人が障害者	障害	中途就・退職	
特別	その他	一 般	就 職	退 職
年月日	年月日	年月日	年 月 日	年 月 日
支 払 者	個人番号又は法人番号	(右欄に記載してください)		
住所(居所)又は所在地				
氏名又は名称	(電話)			

給与の支払を受ける方の個人番号を記入します。
氏名のフリガナも忘れずに記入してください。

摘要欄
※中途就職で前職分も含めて年末調整した場合前職の会社名、支払金額等、退職年月日を忘れず記入してください。
※普通徴収の場合「普通徴収切替理由書」の略号(普A~F)を必ず記入してください。(記載がない場合「特別徴収」とします。)

住宅借入金等特別控除の額の内訳
特別控除可能額・居住開始年月日の両方を記入してください。(記載がないと住民税の控除が受けられませんのでご注意ください。)

控除対象配偶者・扶養親族・16歳未満の扶養親族の氏名(フリガナ)、個人番号を記入します。(非居住者の場合は「区分」に○をする)
※配偶者特別控除を受けた場合は、配偶者の所得(×給与収入額)を記入してください。
※扶養親族が5人以上いる場合は、個人番号欄に番号を記入し、氏名は摘要欄に記入し対応付をしてください。

給与支払者の法人番号(個人事業主の場合は個人番号)を記入します。